

ノムラ・ボンド・インカム・オープン

運用報告書(全体版)

第98期（決算日2022年12月21日） 第99期（決算日2023年3月22日）

作成対象期間（2022年9月22日～2023年3月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	1998年7月30日から2026年3月23日までです。
運用方針	公社債への投資にあたっては、ソブリン債および国際機関の発行した債券を中心とした優良クレジットの債券に分散投資することを基本とします。ポートフォリオのデュレーションは、原則として概ね1～3年程度で4年を超えない範囲内に維持することを基本とします。 カントリーアロケーション、デュレーションおよび為替ヘッジ比率をアクティブに変更することで収益の獲得を目指します。先物取引等も適宜活用します。
主な投資対象	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換および新株予約権を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。
分配方針	年4回の毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近10期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			ベンチマーク		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税込 分配 金	期騰 落	中 率	FTSE世界国債 インデックス(1-3年) 為替100%ヘッジ	期騰 落			
	円	円	%		%	%	%	百万円	
90期(2020年12月21日)	8,131	10	0.5	116.60	△0.0	75.6	—	4,156	
91期(2021年3月22日)	8,068	10	△0.7	116.43	△0.2	80.4	—	4,128	
92期(2021年6月21日)	8,033	10	△0.3	116.26	△0.1	81.3	—	4,063	
93期(2021年9月21日)	7,991	10	△0.4	116.35	0.1	89.6	—	3,938	
94期(2021年12月21日)	7,937	10	△0.6	115.82	△0.5	75.6	—	3,837	
95期(2022年3月22日)	7,868	10	△0.7	113.87	△1.7	77.8	—	3,763	
96期(2022年6月21日)	7,749	10	△1.4	112.06	△1.6	79.8	—	3,661	
97期(2022年9月21日)	7,706	10	△0.4	110.95	△1.0	90.7	—	3,605	
98期(2022年12月21日)	7,699	10	0.0	110.33	△0.6	77.2	—	3,578	
99期(2023年3月22日)	7,682	10	△0.1	110.20	△0.1	82.6	—	3,547	

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* FTSE世界国債インデックス（1-3年）は、FTSE Fixed Income LLCが開発した世界先進主要国短期国債（1-3年）市場全体のパフォーマンスを表す代表的な指数の一つです。ファンドは、当インデックスの対円で為替100%ヘッジベースをベンチマークとします。
 * 当ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（1-3年）の各国別指数（現地通貨ベース）を用い、当社において円ヘッジベースに換算した指数です。なお、設定時を100として指数化しています。
 * FTSE世界国債インデックス（1-3年）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
 (出所) FTSE Fixed Income LLC

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

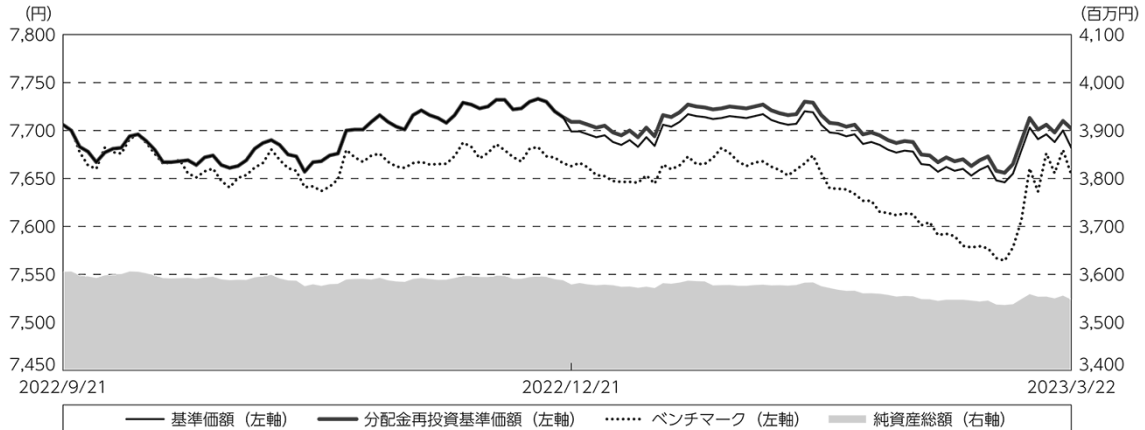
決算期	年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	債券先物比率
		騰落率	FTSE世界国債 インデックス(1-3年) 為替100%ヘッジ	騰落率			
第98期	(期首) 2022年9月21日	円	%		%	%	%
	9月末	7,681	△0.3	110.54	△0.4	90.7	—
	10月末	7,685	△0.3	110.42	△0.5	91.2	—
	11月末	7,708	0.0	110.36	△0.5	88.7	—
	(期末) 2022年12月21日	7,709	0.0	110.33	△0.6	77.2	—
第99期	(期首) 2022年12月21日	7,699	—	110.33	—	77.2	—
	12月末	7,690	△0.1	110.09	△0.2	78.0	—
	2023年1月末	7,706	0.1	110.18	△0.1	73.4	—
	2月末	7,662	△0.5	109.31	△0.9	77.8	—
	(期末) 2023年3月22日	7,692	△0.1	110.20	△0.1	82.6	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第98期首：7,706円

第99期末：7,682円 (既払分配金(税込み)：20円)

騰落率：△0.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2022年9月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(1-3年)為替100%ヘッジです。ベンチマークは、作成期首(2022年9月21日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の7,706円から当作成期末には7,682円(分配後)となりました。なお、第98期に10円、第99期に10円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は4円となりました。

- (上昇) 債券を保有していたことによる、インカムゲイン(利息収入)。
 (下落) 組入債券の価格が下落したことによるキャピタルロス(値下がり損)。
 (下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト(金利差相当分の費用)。

○投資環境

債券市場<債券利回りは米でほぼ変わらず、独・日で上昇>

米国では、債券利回りはほぼ変わらずとなりました。FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ沈静化に向けて大幅な利上げを継続したことなどが債券利回りの上昇（価格は下落）要因となりましたが、米国における金融機関の破綻などによる景気後退懸念の高まりを背景に、当作成期末にかけて債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

ユーロ圏では、債券利回りは上昇しました。インフレ率が高水準で推移する中で、ECB（欧州中央銀行）が継続的な利上げを行なったことなどを背景に、独債券利回りは上昇しました。特に、2022年12月のECB理事会において、大幅な追加利上げの必要性が指摘されたことで、債券利回りの上昇が加速しました。

日本では、債券利回りは上昇しました。2022年12月の金融政策決定会合で日銀が10年金利の変動幅を拡大したことで、日銀の引き締め方向への金融政策調整の可能性が市場で意識され、債券利回りが上昇しました。

為替市場<円に対して米ドルは下落、ユーロは上昇>

米国でインフレ率のピークアウトに伴うFRBの利上げペース鈍化が市場で意識されたことで米ドルが幅広い通貨に対して下落する中、政府・日銀による円買い介入や日銀の金融政策の調整も後押しとなり、米ドルは円に対して下落（円高）しました。一方で、ECBによる金融引き締め観測の高まりはユーロの上昇圧力として働き、ユーロは円に対して小幅に上昇（円安）しました。

○当ファンドのポートフォリオ

・組入債券について

債券組入比率：当作成期を通じて、概ね高めを維持しました。

債券の種類：組入債券の信用力に留意し、国債を中心に高格付け債券に投資しました。

・ファンド全体のデュレーション（※1）

<ファンドのデュレーション>

ファンド全体のデュレーションは、当作成期首から長期化しました。当作成期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して短期化としました。

（※1）デュレーションは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り低下時の価格上昇率が大きくなり、利回り上昇時には価格下落率が大きくなります。

・為替のエクスポージャー（※2）

当作成期を通じて対円での全体の為替エクスポージャーは抑えめとしました。

（※2）為替エクスポージャーとは、外国債券を中心とした外貨建資産のうち、為替ヘッジを行っていない部分の純資産額に対する比率のことです。比率が高いほど円安時には為替差益が、円高時には為替差損が発生しやすくなります。当ファンドの為替エクスポージャーは最大限で20%までです（純資産の100%を外貨建てで保有した場合）。

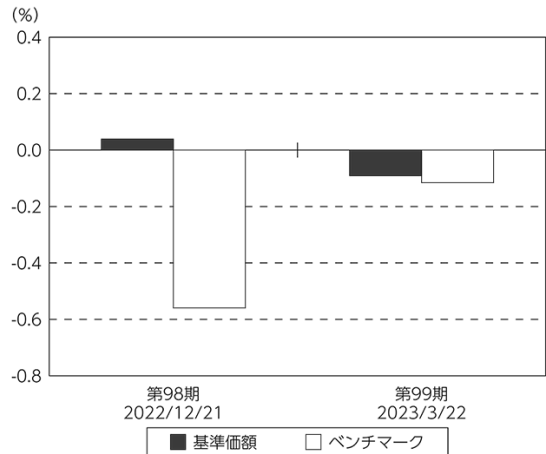
○当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額（分配金再投資）の騰落率は-0.05%となり、ベンチマークの-0.67%を0.62ポイント上回りました。

（主なプラス要因）

ユーロが米ドルに対して上昇する局面で、ユーロをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）、米ドルをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）としていたこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（1－3年）為替100%ヘッジです。

◎分配金

当作成期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から1万口当たり、第98期10円、第99期10円とさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第98期	第99期
	2022年9月22日～ 2022年12月21日	2022年12月22日～ 2023年3月22日
当期分配金	10	10
（対基準価額比率）	0.130%	0.130%
当期の収益	2	1
当期の収益以外	7	8
翌期繰越分配対象額	2,169	2,160

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

当ファンドは、国内外の金融市場について精緻な投資環境リサーチ及び分析を行ない、好収益が期待できる債券や為替市場への投資を行ないます。金利リスク・国別投資配分リスクに加えて、為替変動リスクもコントロールすることで、より分散されたポートフォリオ構築に努めて参ります。

米国では、高インフレが継続しておりFRBは金融引き締めを継続しつつも、これまでの利上げの累積的な効果を見極めるべく利上げペース自体は鈍化することが金融市場で意識されることで、債券利回りは横ばい圏で推移すると予想します。欧州では、ECBによる積極的な金融引き締めに伴って、債券利回りは上昇しやすいと予想します。日本では、日銀の緩和的な金融政策からの転換期待を背景に、長期債を中心として債券利回りは上昇しやすいと予想します。ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して短期化とする方針です。また、通貨配分については、ヘッジ比率の調整により円と米ドルをアンダーウェイト、欧州通貨をオーバーウェイトとします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年9月22日～2023年3月22日)

項 目	第98期～第99期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 28	% 0.367	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(13)	(0.176)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(13)	(0.165)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.009	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	29	0.376	
作成期間の平均基準価額は、7,688円です。			

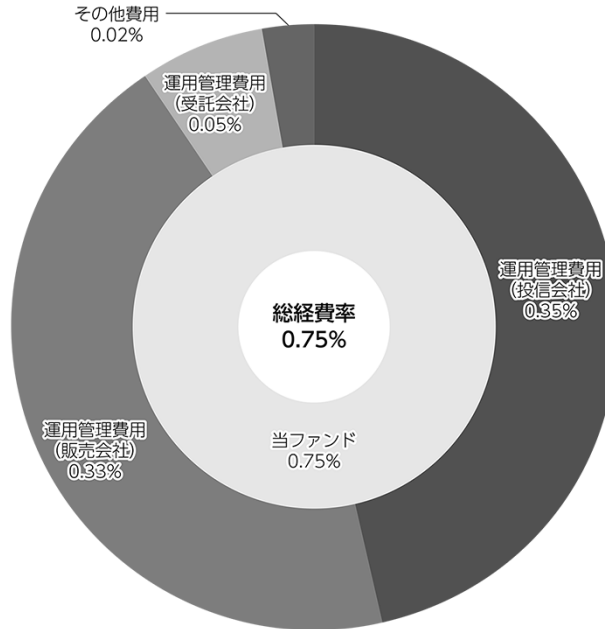
* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月22日～2023年3月22日)

公社債

		第98期～第99期	
		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 600,546	千円 — (600,000)
外国	アメリカ	国債証券 千米ドル 10,691	千米ドル 7,293 (3,220)
	カナダ	地方債証券 千カナダドル —	千カナダドル — (2,500)
	スウェーデン	国債証券 千スウェーデンクローナ 494	千スウェーデンクローナ —
国内	ユーロ	千ユーロ —	千ユーロ 228 (600)
	フランス	国債証券 —	—
	スペイン	国債証券 419	366
	マレーシア	国債証券 千リンギ —	千リンギ 1,286
	メキシコ	国債証券 千メキシコペソ 25,743	千メキシコペソ 7,360

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

*()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月22日～2023年3月22日)

利害関係人との取引状況

区分	第98期～第99期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 466	百万円 —	% —	百万円 643	百万円 41	% 6.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2023年3月22日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第99期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	1,400,000	1,402,965	39.5	—	—	—	39.5
合 計	1,400,000	1,402,965	39.5	—	—	—	39.5

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第99期末				償 還 年 月 日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額		
国債証券	%	千円	千円		
国庫債券 利付(2年)第433回	0.005	300,000	300,182		2024/2/1
国庫債券 利付(2年)第436回	0.005	600,000	600,792		2024/5/1
国庫債券 利付(5年)第139回	0.1	200,000	200,485		2024/3/20
国庫債券 利付(10年)第332回	0.6	300,000	301,504		2023/12/20
合 計		1,400,000	1,402,965		

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第99期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 7,110	千米ドル 6,751	千円 894,811	% 25.2	% —	% 2.5	% 15.9	% 6.9
カナダ	千カナダドル 730	千カナダドル 719	69,537	2.0	—	—	—	2.0
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 2,700	千スウェーデンクローナ 2,665	34,200	1.0	—	—	—	1.0
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
スペイン	1,680	1,563	223,187	6.3	—	1.1	—	5.2
中国	千人民元 6,000	千人民元 6,017	115,914	3.3	—	—	3.3	—
オーストラリア	千豪ドル 750	千豪ドル 746	66,044	1.9	—	—	—	1.9
メキシコ	千メキシコペソ 19,000	千メキシコペソ 17,526	124,882	3.5	—	3.5	—	—
合 計	—	—	1,528,578	43.1	—	7.1	19.1	16.9

* 邦貨換算金額は、第99期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第99期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1.5	1,900	1,845	244,548	2024/2/29
		US TREASURY N/B	0.25	1,200	1,093	144,972	2025/8/31
		US TREASURY N/B	2.25	3,300	3,151	417,657	2025/11/15
		US TREASURY N/B	2.75	710	661	87,633	2032/8/15
小	計					894,811	
カナダ	国債証券	CANADIAN GOVERNMENT	0.25	730	719	69,537	2023/8/1
小	計					69,537	
スウェーデン	国債証券	SWEDISH GOVERNMENT	1.5	2,700	2,665	34,200	2023/11/13
小	計					34,200	
ユーロ	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.8	140	142	20,282	2024/1/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	—	500	483	68,984	2024/5/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	—	700	664	94,881	2025/1/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	0.7	340	273	39,039	2032/4/30
小	計					223,187	
中国	国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND	2.69	6,000	6,017	115,914	2026/8/12
小	計					115,914	
オーストラリア	国債証券	AUSTRALIAN GOVERNMENT	2.75	750	746	66,044	2024/4/21
小	計					66,044	
メキシコ	国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	7.75	19,000	17,526	124,882	2031/5/29
小	計					124,882	
合	計					1,528,578	

* 邦貨換算金額は、第99期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年3月22日現在)

項目	第99期末	
	評価額	比率
公社債	千円	%
	2,931,543	76.8
コール・ローン等、その他	887,346	23.2
投資信託財産総額	3,818,889	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 第99期末における外貨建純資産（1,722,102千円）の投資信託財産総額（3,818,889千円）に対する比率は45.1%です。

* 外貨建資産は、第99期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=132.54円、1カナダドル=96.67円、1英ポンド=162.03円、1スウェーデンクローナ=12.83円、1ノルウェークローネ=12.57円、1デンマーククローネ=19.17円、1ユーロ=142.76円、1ズロチ=30.4639円、1シンガポールドル=99.12円、1リンギ=29.6469円、1人民元=19.2641円、1豪ドル=88.46円、1メキシコペソ=7.1252円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第98期末	第99期末
	2022年12月21日現在	2023年3月22日現在
	円	円
(A) 資産	5,293,831,243	5,493,050,827
コール・ローン等	614,990,398	807,253,669
公社債(評価額)	2,764,098,157	2,931,543,725
未収入金	1,908,602,495	1,741,690,084
未收利息	4,521,326	6,972,185
前払費用	1,048,454	4,791,840
その他未収収益	570,413	799,324
(B) 負債	1,714,855,983	1,945,566,451
未払金	1,701,559,823	1,933,608,273
未払収益分配金	4,648,695	4,617,887
未払解約金	2,025,801	768,606
未払信託報酬	6,601,536	6,551,903
未払利息	451	258
その他未払費用	19,677	19,524
(C) 純資産総額(A-B)	3,578,975,260	3,547,484,376
元本	4,648,695,704	4,617,887,442
次期繰越損益金	△1,069,720,444	△1,070,403,066
(D) 受益権総口数	4,648,695,704口	4,617,887,442口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,699円	7,682円

(注) 第98期首元本額は4,678,937,500円、第98～99期中追加設定元本額は71,102,731円、第98～99期中一部解約元本額は132,152,789円、1口当たり純資産額は、第98期0.7699円、第99期0.7682円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額534,822円。

○損益の状況

項 目	第98期	第99期
	2022年9月22日～ 2022年12月21日	2022年12月22日～ 2023年3月22日
	円	円
(A) 配当等収益	6,515,522	7,187,524
受取利息	6,237,276	6,992,181
その他収益金	315,541	226,506
支払利息	△ 37,295	△ 31,163
(B) 有価証券売買損益	1,773,700	△ 3,670,493
売買益	206,997,039	89,014,451
売買損	△ 205,223,339	△ 92,684,944
(C) 信託報酬等	△ 6,774,367	△ 6,692,584
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,514,855	△ 3,175,553
(E) 前期繰越損益金	△ 487,647,124	△ 483,792,205
(F) 追加信託差損益金	△ 578,939,480	△ 578,817,421
(配当等相当額)	(805,756,385)	(801,943,111)
(売買損益相当額)	(△1,384,695,865)	(△1,380,760,532)
(G) 計(D+E+F)	△1,065,071,749	△1,065,785,179
(H) 収益分配金	△ 4,648,695	△ 4,617,887
次期繰越損益金(G+H)	△1,069,720,444	△1,070,403,066
追加信託差損益金	△ 578,939,480	△ 578,817,421
(配当等相当額)	(805,756,385)	(801,943,111)
(売買損益相当額)	(△1,384,695,865)	(△1,380,760,532)
分配準備積立金	202,568,997	195,625,534
繰越損益金	△ 693,349,961	△ 687,211,179

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2022年9月22日～2023年3月22日)は以下の通りです。

項 目	第98期	第99期
	2022年9月22日～ 2022年12月21日	2022年12月22日～ 2023年3月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,190,870円	494,940円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	805,756,385円	801,943,111円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	206,026,822円	199,748,481円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,012,974,077円	1,002,186,532円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,179円	2,170円
g. 分配金	4,648,695円	4,617,887円
h. 分配金(1万口当たり)	10円	10円

○分配金のお知らせ

	第98期	第99期
1 万口当たり分配金 (税込み)	10円	10円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。